

家族葬  
さいたま興礼  
0120-  
トワニ オクル  
108296

# 小学生に「秩父の森」教室

## 二酸化炭素の温室効果 実験



高校生と一緒に二酸化炭素を発生させる実験に取り組む小学生（県立秩父高で）

小学生を対象に、環境問題や秩父の森を考える科学教室「秩父サイエンスアカ

デミー」が3日、秩父市上町の県立秩父高で開かれ、同市などの小学生36人が参加した。  
日本薬科大（伊奈町）と同高、カエデ樹液の採取な

どを行うNPO法人「秩父百年の森」（横瀬町）の共催。子どもたちに郷土の森や科学に興味を持ってもらおうと開かれた。

「秩父百年の森」の島崎武重郎副理事長が秩父の森に自生するカエデやキハダを活用した林業について、同大の野沢直美特任教授は地球温暖化が環境にもたらす影響をそれぞれ説明。続く実験では、重曹とクエン酸をペットボトルに入れて二酸化炭素を発生させ、湯で温めて温室効果を調べた。市立花の木小6年の青木水翠さん(12)は「二酸化炭素の温度を測ってグラフにするのが面白かった」と話していた。